

# 福 事 研

平成28年(2016年)10月17日発行

## 平成 28 年度総会・支部研修担当者研修会

平成 28 年 6 月 29 日(水)、福岡市「都久志会館」において、代議員(支部研修担当者)124 名が出席し、平成 28 年度福事研総会及び支部研修担当者研修会を開催いたしました。

### 川原会長挨拶

本日は大雨警報の出るなか、福事研第 18 回総会にご参加いただき有り難うございます。

今回の総会終了後の研修では、財務関係の事務について、いわゆるマネジメントを意識した手法について、グループで協議を行っていただくことにしています。学校における財務事務をどう展開していくか、他市町村の状況や取り組み、また、研究委員会からの提起等を聞かれて、現状の改善等、今後の参考にしていただけたらと思っています。

今後のことでいいますと、近々、県教委主催で今後の学校事務について検討する会議が立ちあがる予定です。その会議では、昨年の中教審「チーム学校」答申や県教委の「学校振興プラン」等をふまえて、学校現場の負担軽減・業務改善を図るために、学校事務の共同実施を推進し、学校事務機能を強化する方策を検討することになっています。この会議は、政令市の給与負担移譲を控えていることもあり、県域だけを対象にした会議にはなるのですが、会議のメンバーは県教委と事務職員だけでなく、市町村教委や校長会代表等も入った会議になる予定で、福事研としても積極的にこの会議に関わっていきたく



## 福岡県小中特別支援学校事務職員研究会

事務局 小郡市立のぞみが丘小学校  
TEL 0942-75-7011  
FAX 0942-75-7019  
発行人 川原 通 央

考えています。

福事研は、今後とも研究を進めるとともに、具体的な実践を展開していき、研究の検証を行っていきたいと考えています。各支部におかれましても、これまでの経験や実績を生かしながら、事務職員の新たな役割等について、さらなる研究をすすめていただき、実践していただくようお願いします。

### 平成 28 年度福事研総会

田川郡支部の熊谷紀彦さん、北九州市支部の竹内夏希さんを議長に選出し、議長挨拶、資格確認の後、平成 27 年度事業報告・会計決算報告・監査報告、平成 28 年度役員に関する件、(承認後新役員の紹介)・事業計画・会計予算を審議し、いずれも原案どおり拍手で承認されました。総会資料はホームページに掲載しております。是非ご覧ください。



総会終了後、退任役員(武本さん、橋本さん、吉田さん、古川さん)を代表して、橋本前事務局長から挨拶をいただきました。4名の皆さま大変お疲れ様でした。深く感謝申し上げます。

### 支部研修担当者研修会

「カリキュラムマネジメント」における

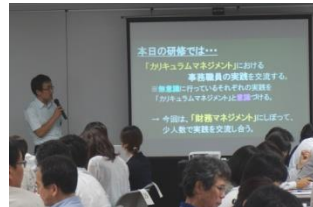
事務職員の実践について

研究特別委員会 チーム長 馬原伸司

福事研では、第 6 次中期計画(H28~30 年度)で、これからの 3 年間「学校経営ビジョンの実現をめざす学校事務と共同実施-カリキュラムマネジメントに関わる事務職員-」というタイトルで研究を進め研

修会を開催しています。カリキュラムマネジメントと聞いて、事務職員には関係ないと思っている人は多いと思います。カリキュラムとは、学校の教育目標を達成するために、いわゆる授業だけではなく、生徒指導や地域との連携など もっと広い範囲における学校独自の教育内容の計画と言えます。

では、学校におけるカリキュラムマネジメントとはどんなものでしょうか。全事研では、学校の教育目標・めざす子



ども像の実現に向けて、地域・家庭と連携しながら教育活動を計画・実施・評価・改善する一連のサイクル、いわゆるPDCAサイクルの継続的・発展的な循環、いわば「学校の教育活動の総体である」と定義づけています。それに基づき、事務職員のカリキュラムマネジメントを考えると、学校の教育目標達成に向けて、教育活動とそれを裏付ける教育条件整備活動（事務職員の強みであるヒト・モノ・カネ等を整えること）を結びつけるものであると言えます。

具体的なマネジメントの内容としましては、予算計画・予算執行といった「財務マネジメント」、情報管理・情報活用・情報発信といった「情報マネジメント」、施設設備・教材開発・教材調達・教材活用・設備計画といった「施設整備マネジメント」、地域連携・学校支援体制の促進・就学保障といった「ネットマネジメント」があります。

今回の研修では、みなさんが無意識に行っている日常の実践を少しでも「カリキュラムマネジメント」として意識づけるために、「財務マネジメント」にしばって、それぞれの実践などを少人数で交流しました。

第1ラウンドは、「財務マネジメントの実践を交流し合おう！」という題で話し合いました。話し合う前に、「効果的な教材購入のすすめ方と備品管理」

「『私費会計』業務にどのように取り組んでいくか？」の二つの議論の柱を提示し、話し合いがスムーズに進むように「教員とともにやる備品整理」「徴収金の

『事務室一括管理』を試みて」という実践例を示しました。

第2ラウンドは、「マネジメントに関わる事務職員をめざして～現状から一歩前進するために～」という題で話し合いました。話し合う前に、問題提起としてどうすればマネジメントに関わる実践となるのかについて物品購入・管理の例を使って説明しました。第1ラウンドの実践交流を受けて、あるいは今までの自分の実践を振り返って、単なる「事務処理」ではなく学校経営に関わる事務職員になるために何ができるかを交流しました。

カリキュラムマネジメントについての一定の理解は得られたと思いますが、カリキュラムマネジメントを自分の実践と結びつけるまでの説明が不十分であったため、話し合いの内容が難しく感じた参加者が少なくなったのではと感じています。

〈アンケート結果〉

- ・自分の言葉で軽く話すことが出来たので楽しく交流できました。
- ・他地区の現状を聞くだけで時間が一杯になりもう少し時間が欲しかった。
- ・カリキュラムマネジメントの理解を深めることはできましたが、学校目標への関わり方でわからないことが多かった。
- ・同じ市内でも人によって関わり方や考え方が様々だと思うので、共同実施で研修のことを話してみたい。
- ・カリキュラムマネジメントに関わることで仕事が増える。仕事に対する温度差を感じた。
- ・学校事務の仕事が好きなので、将来仕事がなくならないように、まずは目の前の仕事を頑張って、そのプラスの結果を残せたらいいと思う。

## 第48回全事研山形大会参加報告

8月3日（水）～5日（金）の3日間、東北の山形県山形市において第48回全事研大会が開催されました。

「自立的な学校経営と学校のガバナンス改革」を大会テ



マに、初日は山形国際交流プラザ（山形ビッグウィング）において、文科省初等中等教育局視学官 新津勝二氏による行政説明と全体研究会、2日目は8つの会場に分かれてそれぞれの分科会、3日目は、まとめの会と工業デザイナーの奥山清行氏による記念講演がおこなわれました。

大会速報によると、全国から2,086名、福岡県からは83名の参加（紙上参加も含む）との事でした。

### 文部科学省行政説明

文科省初等中等教育局視学官 新津勝二氏

我が国の教育の現状と課題として、10年後、20年後の未来はどのようなのかという、今の職業の多くは、無くなっていくと予想されます。それでも、コミュニケーション力を必要とする職業は残ると考えられます。そして、AI やロボットに負けないくらいの頭脳、人間性、共同性、主体性を持った子どもたちを社会に送り出すことが、教育関係者の重要な使命だと考えています。

学習指導要領の改訂として予測の難しい新しい時代に必要となる資質能力を育成するための学力の三つの柱を整理



しますと、一つ目は、生きて働くための知識、技能を習得すること。二つ目は、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力等を育成すること。三つ目は、身につけた能力を人生や社会に活かそうとすることです。今回の改訂のキーワードは、アクティブ・ラーニングとカリキュラムマネジメントの二つです。学びを推進するために重要なことは、教職員定数の拡充と ICT を含めたインフラ環境の整備を進めることです。

教員の ICT 活用指導力向上として、教員のアンケート調査による「児童の ICT 活用を指導する能力」は7割に達しておらず、これは学校における ICT 環境に問題があると思われます。また、中教審が昨年12月に出した答申の中に、アクティブ・ラーニングの視点で授業改善や ICT を用いた指導法の研修があり、教員養成課程からの研修が必要とされています。

今後、教員免許法の改正も予定されています。全ての教科で ICT を活用することが当たり前の時代になってきています。

教育の情報化の現状と課題については、第四次産業革命の実現が求められているなか、子どもたちの未来に向けて、情報管理能力の育成をソフトとハードの両面から真剣に考えていく必要があります。

事務職員が求められていることとして、事務職員が管理職を補佐し学校運営に関わる職として、10年後の高度情報化社会を生きる子どもたちのことを真剣に考え、管理職のリーダーシップの下、カリキュラムマネジメントをつかさどる一員として、その力を発揮していただきたいと思います。

### 分科会報告

須恵町立須恵第一小学校 石川健一郎

第1分科会 埼玉支部

彩の国 学校事務 NEXT !

ー地域との協働による学校づくりと事務職員の役割ー  
チェンジをチャンスととらえて、事務職員の専門性を高め、力量形成を図ろうという埼玉県の取り組みについての発表がありました。

取り組みの背景にはやはり急速に進む世代交代があり、県内アンケート調査で浮き彫りとなりました、若手職員の「能力」に対する意識と実感の差、具体的には自身が必要と思う力が身に付いていないと感じている問題や、ベテラン職員の大量退職に伴う次期リーダーの不足、ミドルリーダーの育成の必要性が挙げられました。

まず、地域との協働における学校事務職員の役割についての提案では、県内アンケートの結果から、地域との渉外業務には事務職員が関わるべきという意識がありながら、実態としてはあまり主体的に関わることができていないという報告でした。そして、地域とともにある学校づくりにおける事務職員が果たすべき役割として、教育資源の共有、ネットワーク化などの情報マネジメントを通じた「学校





のマネジメント機能の強化」や学校内外の情報の収集・整理・分析を行って地域・保護者のニーズと学校のニーズを調整し「学校の内外を繋ぐ」ことなどが提示されました。

また埼玉県では、イギリスの学校に配置されている、高度な財務知識と専門性を持ったSBM（スクールビジネスマネージャー）を参考に、今後目指したい事務職員像としてSSBM（彩の国スクールビジネスマネージャー）というものを提唱し、そこへ繋げるための力量形成の在り方についての研究がされています。具体的には、現状に即した新しい標準職務表を策定し、事務主事を「力量形成期」、事務主任を「ミドルリーダー前期」、事務主査を「ミドルリーダー後期」、事務主幹を「SSBM期」と位置づけ、求められる役割の変化の位に応じた力量形成を行うための研修体系の整備が挙げられています。その中で、ミドルリーダーはファシリテーション力、情報マネジメント力、財務マネジメント力、課題解決力を総合的に身に付ける必要があり、そこでは共同実施における企画・提案の経験などが有効であることも述べられました。そしてミドルリーダー一期においては研修により、戦略的マネジメントなどの能力を身に付け、SSBMへと進歩していくということです。

助言者からは、日常の仕事の中での研修と、仕事を離れた体系的な研修との棲み分けの必要性や、行政職員として政策能力を発揮し、学校の教育目標そのものに関わることの重要性、まず手を付けやすいところから取り組みを始めて、そこから広げていくという順序立ての必要性など、大変参考になる多くの指摘がありました。

埼玉県の学校事務職員の高い志に触れて、やはり目標を高く持ち、そこへ向けて地道に進んでいくことの大切さを再認識しました。研修体系の整備については福岡県でも大きな課題となっていますが、やはり目前に迫る世代交代を睨み、早急に進める必要性を感じました。今後、私たちが研究を進めていく上でも参考になる話が多く、とても有意義な分科会でした。

## 第19回九州地区事務研究会役員研修会

標記の研修会が下記のように開催されました。概要をお知らせ致します。

期 日 平成28年9月2日（金）13時から

参加者 九州地区の事務研究会役員

場 所 熊本市「熊本市国際交流センター」

内 容

- 1 開会及び日程説明
- 2 開催県挨拶（熊本県：上田会長）
- 3 地区委員長挨拶（長崎県：前田会長）
- 4 各県自己紹介
- 5 役員研修

講演「熊本地震発生から学校再建まで」

講師 熊本市立託麻東小学校

藤川英一 先生

- 6 議事（議長 長崎県：前田会長）

- ・各県の取組及び研究課題等、研究大会日程及び現状報告について
- ・当面する共通課題について
- ・平成30年度周年大会（千葉大会）の分科会支部についての確認
- ・平成31年度～平成38年度のいずれの年の主管（開催）支部について
- ・その他

今回は役員研修として、熊本地震に被災されました藤川熊本県前会長の講演がありました。地震前の学校の状況、地震後の被害状況



などの話があり、耐震処理が終わったばかりの体育館が被災して使えなくなったこと、防災施設として平成26年度に設置された貯水機能付給水管設備が設置されていたにもかかわらず、周知されていなかったことで使われなかったこと、市との連絡や保護者への連絡はメールが活用されたとの話がありました。学校開始に向けては、各教室の清掃・消毒、危険箇所の点検、心のケアについて話がありました。

最後に、非常時に対する普段からの備えや情報の共有の重要性、避難訓練のあり方（地震時は防火扉が全て閉まるので経路の再点検が必要）などの話があり、終了しました。

各県の取組み等の報告では、本県から川原会長が福事研の取組み、本年度福事研大会について、福岡県版ランドデザインの状況を説明しました。

全事研平成31年度～平成38年度開催大会の主管（開催）支部の件につきましては、全1支部での開催が困難な場合は、複数県での大会開催も可能なのか、大会日程の短縮は、確定しているのかなどを全事研本部に確認したうえで、今後、九州地区の役員会で引き続き協議を行うことになりました。

## 第19回福事研研究大会の案内

### 1. 大会テーマ

「子どもの豊かな育ちをめざして、  
学校経営ビジョンの実現に貢献する学校事務」

### 2. 目的

これからの公教育がめざす方向性の中で、学校事務職員が果たすべき役割を確認するとともに、各地区の事務実践の交流を通じて、県内学校事務職員の課題と展望を考えます。

### 3. 期 日

平成28年11月25日（金曜日）  
受付9時30分～

### 4. 会 場

都久志会館（福岡市中央区天神4-8-10）

### 5. 内 容

#### ①講演

「企業の取組から学ぶ学校のガバナンス改革  
—学校事務職員の目標・機能を考える—」

ベネッセ教育総合研究所 副所長

東京大学社会科学研究所 客員准教授 木村 治生 氏

#### ②分科会

【第1分科会】実践報告と意見交換

【第2分科会】事例報告と小グループ研修

## 北九州市立学校事務研究会 第10回研究大会のお知らせ

1. 期 日 平成29年1月27日（金曜日）

10時開会

2. 場 所 北九州市教育センター

3. 内 容

- ・平成29年度 全事研京都大会プレ発表
- ・グループ討議

昨年度は、「学校給食への学校事務職員の関わり」「チーム学校における学校事務職員の役割～特別支援教育の視点から～」の2本の講演と、「県費負担教職員の給与負担等の権限移譲について」といった、現在一番身近な内容の研究会で、とても興味深いものでした。

## パソコン研修会の報告

福岡教育事務所管内の共同実施主任会主催で、エクセルを主にした研修会が8月22日・23日に糸島市立東風小学校で開催されました。近年、教育センターの講座では、エクセル等を使った



基本的な講座は、開催されなくなりました。そのため、夏休みに事務職員向けに共同実施主任会主催のパソコン研修が開催されています。

エクセルやワードは、事務職員にとって基本スキルと言われ、採用時には「使えて当たり前」という状況になってきています。全国的にも行政区単位で統一した校務支援ソフトの導入の話もよく聞くようになりました。

今回の参加者からは、「前半の数式の研修は理解できたが、マクロの研修の部分については難しかった。」との感想が聞かれました。

平成28年度(2016年度) 役員・理事

役職名	氏名	所属	
会長	かわはら みちひさ 川原 通央	小郡市立 のぞみが丘小学校	
副会長	きび まさひこ 吉備 昌彦	嘉麻市立 碓井中学校	
副会長	へばる まさひろ 辺春 雅博	筑紫野市立 筑紫小学校	
副会長	のむら あきつぐ 野村 明告	福岡市立 友泉中学校	
副会長	もり さとし 森 聡	北九州市立 高須小学校	
事務局長	わだ たいぞう 和田 泰三	飯塚市立 穂波東中学校	
事務局次長	くぼ ひろし 久保 博	築上町立 八津田小学校	
事務局員	いけだ かずひろ 池田 和広	北九州市立 西小倉小学校	
事務局員	もり けんいち 森 賢一	北九州市立 門司海青小学校	
監事	やました きょうへい 山下 恭平	宮若市立 宮田小学校	
監事	なかの みゆき 中野 三幸	大牟田市立 白川小学校	
監事	むらやま みわ 村山 美和	福津市立 福岡中学校	
理事	福岡市	はしもと きくよ 橋本 喜久代	福岡市立 鳥飼小学校
	北九州市	みぞべ のりゆき 溝部 憲将	北九州市立 門司総合 特別支援学校
	京築地区	わたなべ やすお 渡邊 康夫	苅田町立 白川小学校
	北九州地区	こみなみ けいこ 小南 恵子	直方市立 直方西小学校
	筑豊地区	はら しょうぞう 原 正造	田川市立 後藤寺小学校
	福岡地区	きたさき きょうこ 北崎 教子	宗像市立 自由ヶ丘中学校
	北筑後地区	ながの おさむ 永野 修	小郡市立 大原小学校
	南筑後地区	かわはら はるこ 川原 春子	大牟田市立 羽山台小学校

平成28年度 年間事業スケジュール

月	活動項目	活動の細目
4	理事選出 監事会 4/16 理事会 4/27	平成28年度総会の計画立案 平成27年度会計監査 総会の運営計画審議 平成27年度事業報告案審議 平成27年度決算案審議 平成28年度事業計画案審議 平成28年度予算案審議 平成28年度役員・理事の確認
5	支部代表者会 5/24	総会議案提案 新採・未加入者の加入勧誘 総会・支部代議員の選出 全事研会報の配布 全事研5月期調査の提案 会員名簿の作成
6	総会 6/29 (支部研修担当者研修会)	総会開催(運営の課題等) 各部活動計画 会報の作成(総会) 役員候補者選考委員選出 会費納入依頼
8	全事研総会 8/2 全事研山形大会 8/3~8/5	代議員総会参加 全事研大会参加
9	九州地区研究会役員研修会 (熊本) 9/2	九州地区事務研究会の対応 全事研会報の配布 会報「福事研」(33号)の発行
10	役員会 10/7	第19回研究大会の計画立案 全事研調査の集約・報告 次年度役員を選考
11	全事研調査 福事研第19回研究大会 11/25 役員候補者選考委員会 11/25	全事研11月期調査集約依頼 第16回研究大会の開催運営 次年度役員を選考
1	役員候補者選考委員会 理事会	次年度役員を選考 全事研会報の配布 全事研セミナー参加者選定
2	理事会 全事研セミナー(東京都北区)2/17 役員候補者選考委員会	平成28年度研究のまとめ 次年度役員を選考
3	理事会	平成28年度引き継ぎ 会報「福事研」(34号)の発行 平成28年度研究のまとめ 平成29年度計画の立案

● 訃報のお知らせ

去る4月7日、本研究会初代会長 田畑章好氏  
がご逝去されました。

田畑氏は、本研究会発足から6年間本会会長と  
して、また、本会発足のための設立世話役人会  
の代表として、県全体をとりまとめるとともに、設  
立のため、県や2政令市教育委員会との折衝に  
幅広くご尽力されました。

そして、本県の事務職員の研究の基礎作りにも  
多大な活躍をされました。

心からお悔やみ申し上げます。

(文責: 辺春)